

1 概況 - 生産、出荷指数 3年ぶりの低下 -

平成17年の埼玉県鉱工業指数（平成12年平均=100）は、前年に比べ生産が 3.0%、出荷が 2.5%と低下し、在庫が3.8%、在庫率が10.8%と上昇した。

四半期別に1年間の動きをみると、生産は、1～3月期は上昇し、4～6月期が低下、7～9月期と10～12月期は上昇した。出荷は、1～3月期は上昇し、4～6月期と7～9月期が低下、10～12月期は上昇した。在庫は、1～3月期は上昇し、4～6月期が低下、7～9月期と10～12月期は上昇した。また、在庫率は、1～3月期は上昇し、4～6月期が低下、7～9月期と10～12月期は上昇した。

業種別にみると、生産は、19業種中9業種が上昇し、10業種が低下した。上昇には一般機械工業（対前年比5.7%、以下同じ）、ゴム製品工業（2.9%）などが寄与し、低下には化学工業（5.5%）、電気機械工業（8.4%）などが寄与した。

出荷は、19業種中8業種が上昇し、11業種が低下した。上昇には一般機械工業（5.2%）、輸送機械工業（0.3%）などが寄与し、低下には電気機械工業（6.4%）、化学工業（5.6%）などが寄与した。

在庫は、19業種中9業種が上昇し、10業種が低下した。上昇には輸送機械工業（51.7%）、一般機械工業（9.4%）などが寄与し、低下には電気機械工業（13.6%）、家具工業（30.2%）などが寄与した。

表1-1 鉱工業総合指数の推移（12年=100 季調済、年の数字は原指数による）

種別		16年	17年	17年			
				1～3月	4～6月	7～9月	10～12月
生産	指数	93.1	90.3	91.2	88.3	89.8	91.9
	増加率(%)	1.4	3.0	0.9	3.2	1.7	2.3
出荷	指数	95.4	93.0	94.8	92.6	90.6	94.1
	増加率(%)	1.5	2.5	2.7	2.3	2.2	3.9
在庫	指数	112.1	116.4	116.3	106.9	114.8	117.6
	増加率(%)	11.7	3.8	2.1	8.1	7.4	2.4
在庫率	指数	128.9	142.8	137.1	137.0	145.9	152.0
	増加率(%)	3.2	10.8	1.9	0.1	6.5	4.2

図1-1 鉱工業総合指数の推移（12年=100 季調済、年の数字は原指数による）

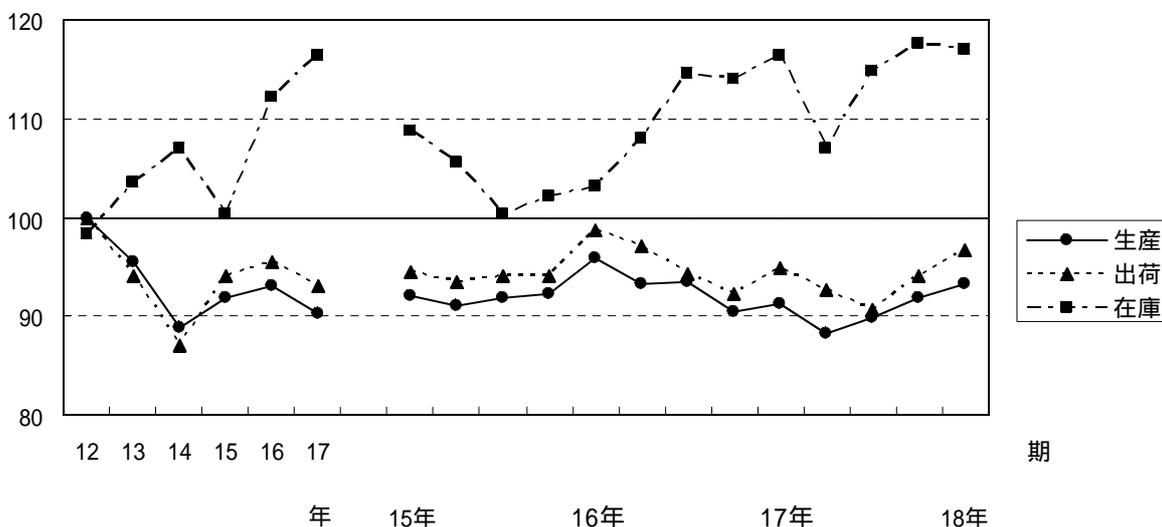
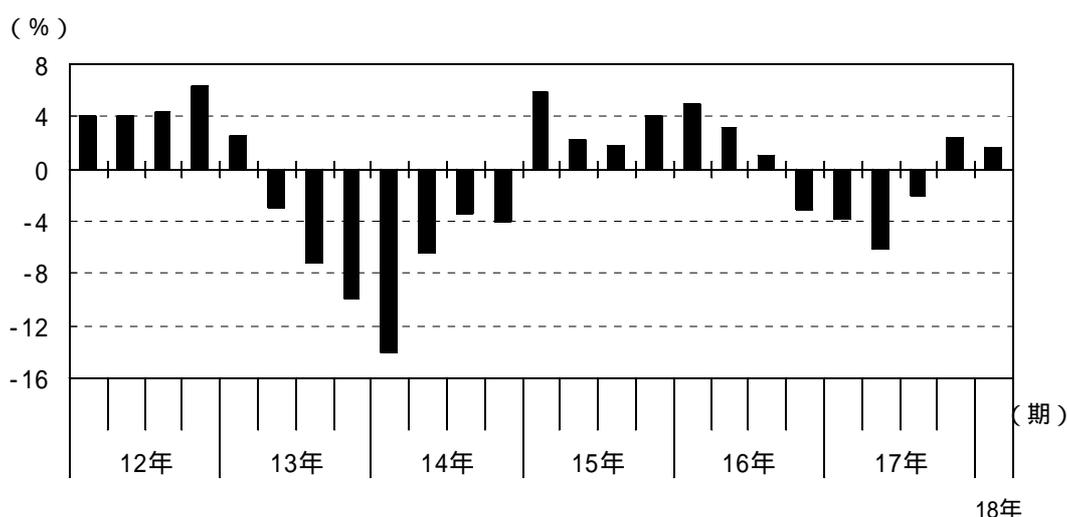


表1 - 2 上昇・低下に寄与した業種及び品目

生 産：9業種が上昇、10業種が低下			
上昇した主な業種	一般機械工業	5.7% (0.6%)	半導体製造装置 その他のゴム製品
	ゴム製品工業	2.9% (0.1%)	
低下した主な業種	化学工業	5.5% (1.3%)	医薬品 端末装置
	電気機械工業	8.4% (1.2%)	
上昇した主な品目	半導体製造装置 乗用車 液晶テレビ		
低下した主な品目	医薬品 端末装置 携帯電話		
出 荷：8業種が上昇、11業種が低下			
上昇した主な業種	一般機械工業	5.2% (0.5%)	半導体製造装置 乗用車
	輸送機械工業	0.3% (0.1%)	
低下した主な業種	電気機械工業	6.4% (1.1%)	端末装置 医薬品
	化学工業	5.6% (0.8%)	
上昇した主な品目	半導体製造装置 乗用車 液晶テレビ		
低下した主な品目	医薬品 端末装置 プラスチック製容器		
在 庫：9業種が上昇、10業種が低下			
上昇した主な業種	輸送機械工業	51.7% (5.3%)	乗用車 はん用内燃機関
	一般機械工業	9.4% (2.3%)	
低下した主な業種	電気機械工業	13.6% (3.6%)	電気掃除機 システムキッチン
	家具工業	30.2% (0.6%)	
上昇した主な品目	乗用車 はん用内燃機関 その他のゴム製品		
低下した主な品目	カーステレオ 混成集積回路 石油温風暖房機		

注) 数字は対前年比。()内は寄与度。

図1 - 2 生産指数前年同期比の推移



2 主要業種の動向

(1) 金属製品工業 - 生産、出荷指数ともに5年連続の低下 -

平成17年の金属製品工業は、前年に比べ、生産が 8.5%、出荷が 2.2%、在庫が 5.2%、在庫率が 7.5%とすべて低下した。

品目別にみると、生産は、スチール・ステンレスシャッター、アルミニウムエクステリアなどが上昇に寄与し、食缶、管継手などが低下に寄与した。出荷は、飲料用アルミニウム缶、食缶などが上昇に寄与し、管継手、橋りょうなどが低下に寄与した。在庫は、アルミニウムエクステリア、一般缶などが上昇に寄与し、石油温風暖房機、飲料用アルミニウム缶などが低下に寄与した。

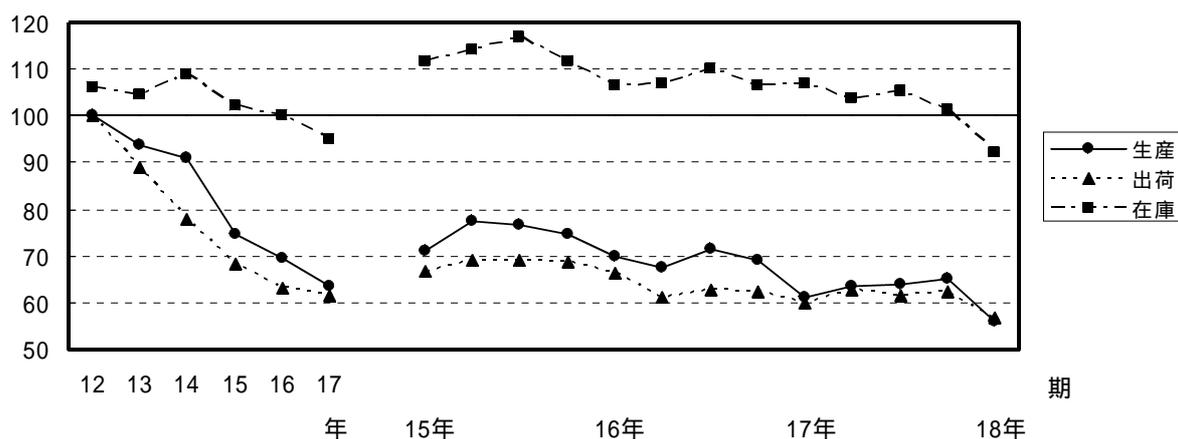
表2 - 1 金属製品工業の推移

(12年=100 季調済、年の数値は原指数による)

種別		16年	17年	17年			
				1～3月	4～6月	7～9月	10～12月
生産	指数	69.3	63.4	61.3	63.7	64.1	65.0
	増加率(%)	7.0	8.5	11.4	3.9	0.6	1.4
出荷	指数	63.1	61.7	60.0	62.6	61.7	62.4
	増加率(%)	7.5	2.2	4.0	4.3	1.4	1.1
在庫	指数	100.0	94.8	106.9	103.7	105.3	101.5
	増加率(%)	2.0	5.2	0.5	3.0	1.5	3.6
在庫率	指数	173.9	160.8	166.7	154.4	163.1	158.1
	増加率(%)	0.2	7.5	7.8	7.4	5.6	3.1

図2 - 1 金属製品工業の推移

(12年=100 季調済、年の数値は原指数による)



(2) 一般機械工業 - 生産、出荷指数ともに3年連続の上昇 -

平成17年の一般機械工業は、前年に比べ、生産が5.7%、出荷が5.2%、在庫が9.4%、在庫率が4.1%とすべて上昇した。

品目別にみると、生産は、半導体製造装置、フラットパネル・ディスプレイ製造装置などが上昇に寄与し、空気圧機器、分離機器などが低下に寄与した。出荷は、半導体製造装置、フラットパネル・ディスプレイ製造装置などが上昇に寄与し、空気圧機器、包装・荷造機械などが低下に寄与した。在庫は、はん用内燃機関、油圧機器などが上昇に寄与し、空気圧機器、圧縮機などが低下に寄与した。

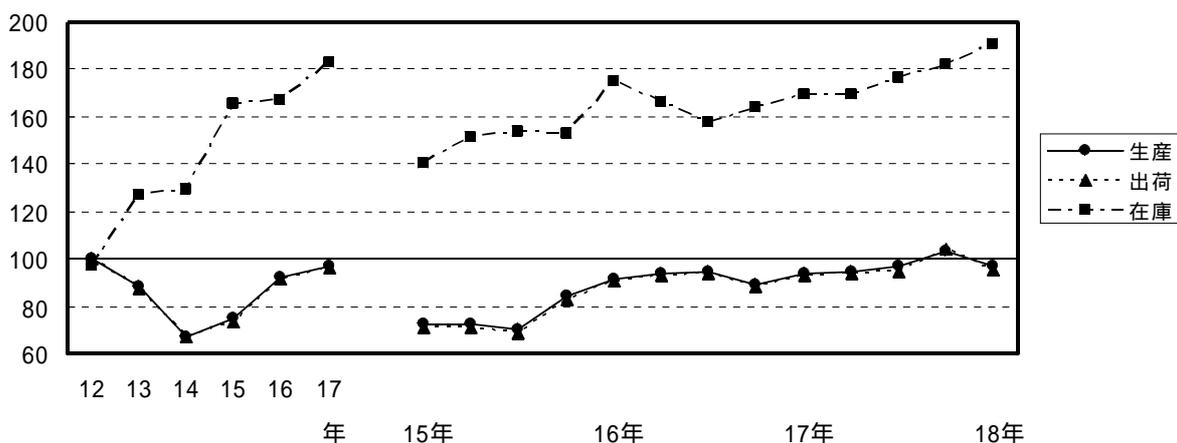
表 2 - 2 一般機械工業の推移

(12年=100 季調済、年の数値は原指数による)

種別		16年	17年	17年			
				1～3月	4～6月	7～9月	10～12月
生産	指数	92.0	97.2	94.2	94.5	96.6	103.5
	増加率(%)	22.8	5.7	5.6	0.3	2.2	7.1
出荷	指数	91.5	96.3	93.3	93.5	95.0	103.7
	増加率(%)	24.5	5.2	5.2	0.2	1.6	9.2
在庫	指数	166.8	182.5	169.5	169.5	176.5	182.2
	増加率(%)	0.9	9.4	3.5	0.0	4.1	3.2
在庫率	指数	157.1	163.6	164.5	161.7	175.8	153.9
	増加率(%)	7.3	4.1	7.0	1.7	8.7	12.5

図 2 - 2 一般機械工業の推移

(12年=100 季調済、年の数値は原指数による)



(3) 電気機械工業 - 生産、出荷指数ともに2年連続の低下 -

平成17年の電気機械工業は、前年に比べ、生産が 8.4%、出荷が 6.4%、在庫が 13.6%と低下し、在庫率が20.3%と上昇した。

品目別にみると、生産は、液晶テレビ、基地局通信装置などが上昇に寄与し、端末装置、携帯電話などが低下に寄与した。出荷は、液晶テレビ、基地局通信装置などが上昇に寄与し、端末装置、携帯電話などが低下に寄与した。在庫は、電気掃除機、モス型半導体集積回路などが上昇に寄与し、カーステレオ、混成集積回路などが低下に寄与した。

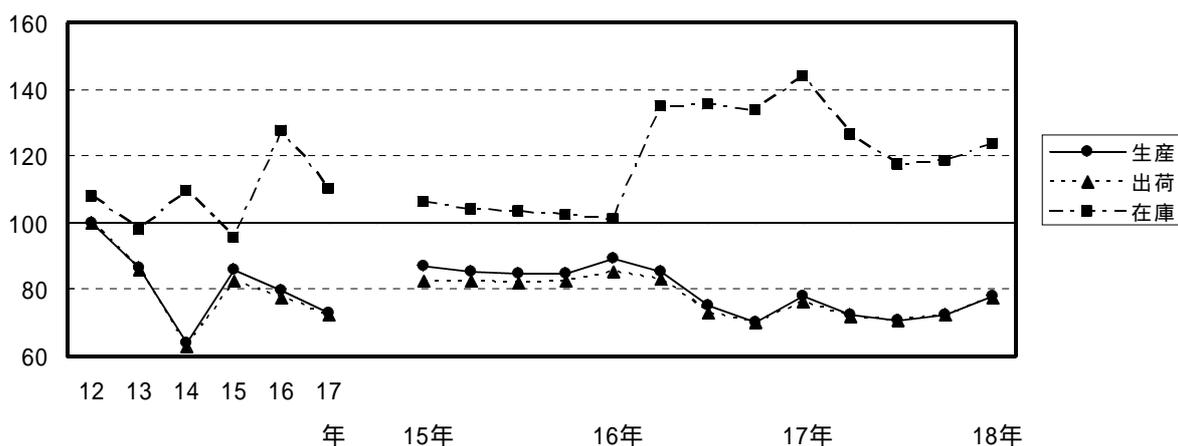
表 2 - 3 電気機械工業の推移

(12年=100 季調済、年の数値は原指数による)

種別		16年	17年	17年			
				1～3月	4～6月	7～9月	10～12月
生産	指数	79.8	73.1	77.7	72.6	70.5	72.3
	増加率(%)	6.9	8.4	10.7	6.6	2.9	2.6
出荷	指数	77.6	72.6	76.1	71.7	70.7	72.3
	増加率(%)	5.9	6.4	8.9	5.8	1.4	2.3
在庫	指数	127.4	110.1	143.8	126.1	117.4	118.5
	増加率(%)	33.3	13.6	7.6	12.3	6.9	0.9
在庫率	指数	154.5	185.8	177.8	190.4	184.2	189.8
	増加率(%)	19.2	20.3	9.4	7.1	3.3	3.0

図 2 - 3 電気機械工業の推移

(12年=100 季調済、年の数値は原指数による)



(4) 輸送機械工業 - 生産、出荷指数ともに2年連続の上昇 -

平成17年の輸送機械工業は、前年に比べ、生産が0.1%、出荷が0.3%、在庫が51.7%、在庫率が22.7%とすべて上昇した。

品目別にみると、生産は、乗用車、けん引車などが上昇に寄与し、機関部品、輸送機械用エアコンなどが低下に寄与した。出荷は、乗用車、けん引車などが上昇に寄与し、輸送機械用エアコン、機関部品などが低下に寄与した。在庫は、乗用車、大型バスが上昇に寄与し、完成自転車、普通トラックなどが低下に寄与した。

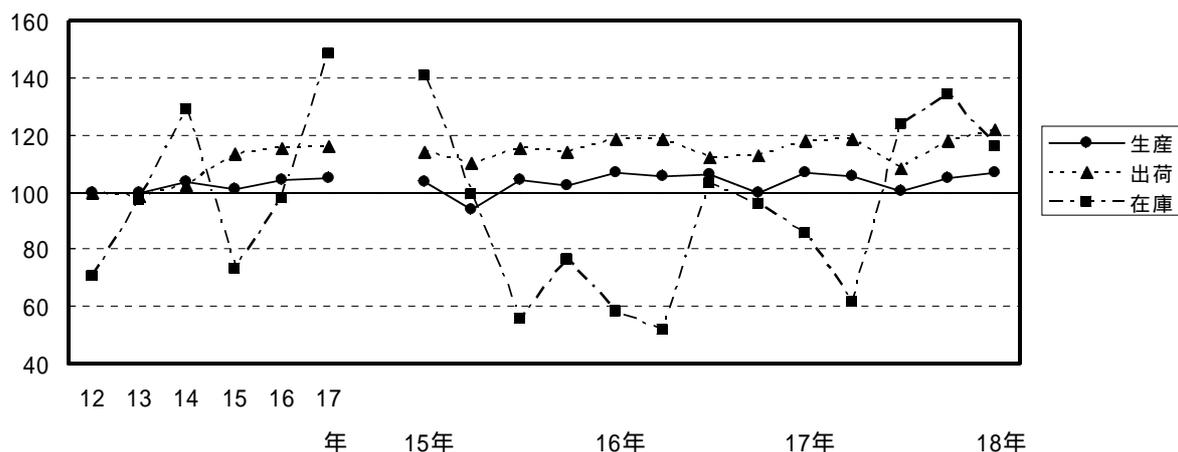
表 2 - 4 輸送機械工業の推移

(12年=100 季調済、年の数値は原指数による)

種別		16年	17年	17年			
				1～3月	4～6月	7～9月	10～12月
生産	指数	104.5	104.6	106.8	105.8	100.3	105.1
	増加率(%)	3.6	0.1	6.8	0.9	5.2	4.8
出荷	指数	115.2	115.6	117.9	118.3	107.8	118.0
	増加率(%)	1.9	0.3	4.8	0.3	8.9	9.5
在庫	指数	97.6	148.1	85.3	61.6	123.9	134.1
	増加率(%)	33.0	51.7	11.2	27.8	101.1	8.2
在庫率	指数	80.9	99.3	90.8	68.9	106.9	126.1
	増加率(%)	11.6	22.7	16.9	24.1	55.2	18.0

図 2 - 4 輸送機械工業の推移

(12年=100 季調済、年の数値は原指数による)



(5) 化学工業 - 生産、出荷ともに2年連続の低下 -

平成17年の化学工業は、前年に比べ、生産が 5.5%、出荷が 5.6%と低下し、在庫が1.4%、在庫率が8.2%と上昇した。

品目別にみると、生産は、印刷インキ、印刷インキワニスなどが上昇に寄与し、医薬品、化粧品などが低下に寄与した。出荷は、印刷インキ、印刷インキワニスなどが上昇に寄与し、医薬品、化粧品などが低下に寄与した。在庫は、合成樹脂塗料、印刷インキなどが上昇に寄与し、石鹼、複合肥料などが低下に寄与した。

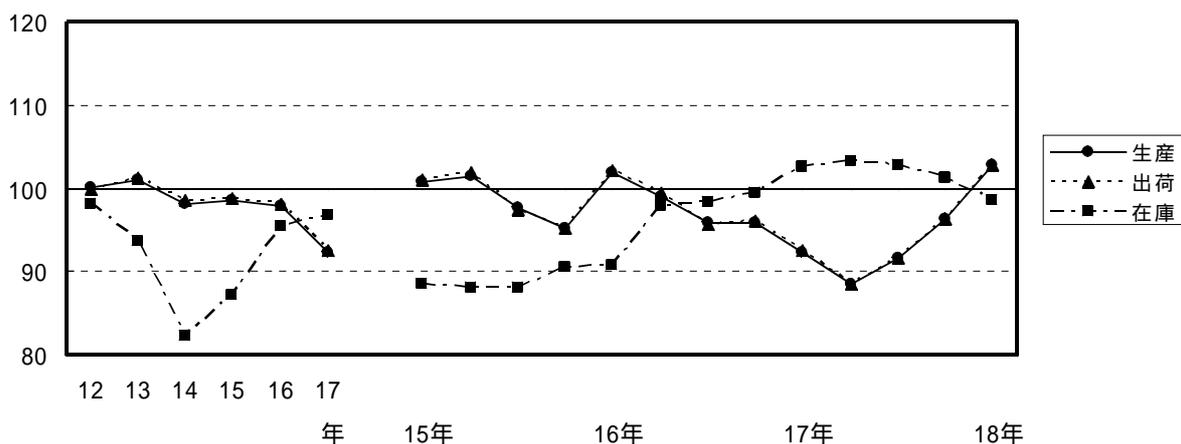
表 2 - 5 化学工業の推移

(12年=100 季調済、年の数値は原指数による)

種別		16年	17年	17年			
				1～3月	4～6月	7～9月	10～12月
生産	指数	97.8	92.4	92.4	88.5	91.7	96.4
	増加率(%)	0.8	5.5	3.5	4.2	3.6	5.1
出荷	指数	98.0	92.5	92.6	88.6	91.6	96.4
	増加率(%)	0.8	5.6	3.5	4.3	3.4	5.2
在庫	指数	95.5	96.8	102.6	103.2	102.7	101.2
	増加率(%)	9.6	1.4	3.1	0.6	0.5	1.5
在庫率	指数	100.9	109.2	105.4	107.7	112.2	111.9
	増加率(%)	2.3	8.2	0.3	2.2	4.2	0.3

図 2 - 5 化学工業の推移

(12年=100 季調済、年の数値は原指数による)



(6) プラスチック製品工業 - 生産、出荷指数ともに2年ぶりの低下 -

平成17年のプラスチック製品工業は、前年に比べ、生産が 3.5%、出荷が 8.6%と低下し、在庫が2.5%、在庫率が6.0%と上昇した。

品目別にみると、生産は、日用品・雑貨プラスチック製品、合成皮革が上昇に寄与し、プラスチック製機械器具部品、プラスチック製建材などが低下に寄与した。出荷は、合成皮革、発泡プラスチック製品などが上昇に寄与し、プラスチック製容器、プラスチック製機械器具部品、などが低下に寄与した。在庫は、プラスチック製板、プラスチック製継手などが上昇に寄与し、プラスチック製フィルム、プラスチック製機械器具部品などが低下に寄与した。

表 2 - 6 プラスチック製品工業の推移 (12年=100 季調済、年の数値は原指数による)

種別		16年	17年	17年			
				1～3月	4～6月	7～9月	10～12月
生産	指数	97.0	93.6	95.5	93.7	94.3	91.0
	増加率(%)	3.1	3.5	1.6	1.9	0.6	3.5
出荷	指数	100.3	91.7	98.3	92.1	90.6	86.1
	増加率(%)	5.0	8.6	1.0	6.3	1.6	5.0
在庫	指数	84.2	86.3	87.1	86.4	87.7	88.4
	増加率(%)	0.2	2.5	1.9	0.8	1.5	0.8
在庫率	指数	92.1	97.6	93.2	94.5	97.3	106.1
	増加率(%)	3.6	6.0	4.5	1.4	3.0	9.0

図 2 - 6 プラスチック製品工業の推移 (12年=100 季調済、年の数値は原指数による)

